

館外レポート2014年度

平和祈念展示資料館

2014年度

2015年2月25日	特別展示「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2 [勝山俊一・田中武一郎]」
2015年2月9日	僕たちが伝える体験者の言葉（平和祈念展in千葉 関連イベント）
2015年2月9日	平和祈念展 in 千葉
2015年1月22日	平和祈念展 in 静岡
2014年12月5日	平和祈念展 in 佐賀
2014年9月2日	子ども霞が関見学デー

総務省委託の平和祈念展示資料館は、子ども霞が関見学デーに参加しました。

- 会期：平成26年8月6日（水）7日（木） 午前10時～午後4時
- 会場：中央合同庁舎2号館 講堂(地下2階)

平和祈念展示資料館は、さきの大戦での、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦についての理解を深める機会を提供するため、所蔵資料などを活用して各地で催しを行っています。

今回は、当資料館の紹介展示のほか、引揚者が使用していたリュックサックの大きさを体感できる展示や、漫画家の赤塚不二夫氏が自身の引揚げ体験をもとに描いた作品パネルと一緒に撮影できるコーナーを設けました。また、「感じてみようさわれる展示」として抑留者の1日の食事を再現した黒パンとスープや、引揚者の食事の一例を再現したコーリャン飯の体感展示をしました。

会場では、親子で写真撮影をする来場者の姿が見られました。



平成26年度の館外での展示会を、佐賀県・佐賀市で開催しました。

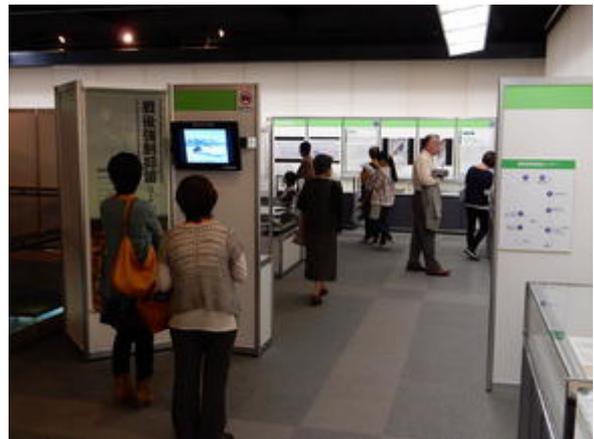
- 会期：平成26年10月1日(水)～10月19日(日) 午前9時30分～午後6時(最終日は午後2時まで)
- 会場：佐賀県立博物館 3階 2号展示室(佐賀県・佐賀市)

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 佐賀」は、佐賀県・佐賀市で昭和館主催の巡回特別企画展「伝えたい『戦中・戦後』の暮らし」と同時開催しました。

当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、佐賀県出身の早田貫一氏の絵画など、約190点を展示しました。

特別展示「酷寒のシベリアを描く 早田貫一抑留絵画展」では、シベリア抑留を体験した早田氏の描いた水彩画を通して、戦後強制抑留者の方々の労苦を紹介しました。





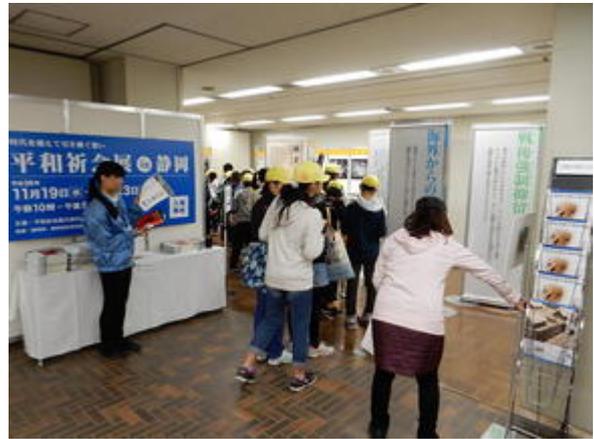
平成26年度の館外での展示会を、静岡県静岡市で開催しました。

- 会期：平成26年11月19日(水)～11月23日(日・祝) 午前10時～午後5時30分
- 会場：静岡市民ギャラリー第1・第2展示室（静岡県静岡市）

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 静岡」では、当資料館所蔵の代表的な資料や写真のほか、静岡県ゆかりの資料など、181点を展示しました。

特別展示「静岡県ゆかりの資料」では、旧静岡県出身の少年飛行兵身に付けていた「飛行眼鏡」などのほか、釜山日本人世話会のメンバーとして引揚者の帰還に尽力し、後年静岡県で過ごした故・三宅一美氏が引揚港での帰国を待つ人々の様子などを撮影した写真も展示しました。



平成26年度の館外での展示会を、千葉県・千葉市で開催しました。

- 会期：平成27年1月14日(水)～1月18日(日) 午前9時30分～午後6時(最終日は午後2時まで)
- 会場：Qiball[きぼーる] 1階 アトリウム(千葉県・千葉市)

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「平和祈念展 in 千葉」では、当資料館が所蔵する代表的な実物資料のほか、漫画家たちが引揚げ体験を描いた作品を、合わせて193点展示しました。

特別展示「子どもたちの引揚げ-引揚げ漫画作品展」では、子どもたちの引揚げをテーマに、漫画家たちが自らの体験を描いた作品を展示し、当時子どもだった漫画家たちが思い出を描いた作品を通して、満州での生活や引揚げの労苦を紹介しました。



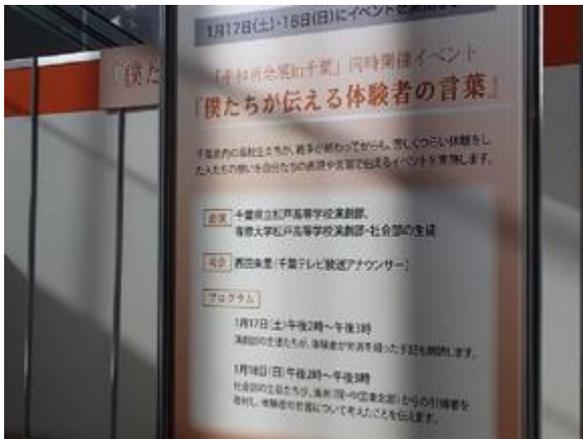


平成26年度は平和祈念展in千葉の関連イベントとして「僕たちが伝える体験者の言葉」を開催しました。

- 会期：平成27年1月17日(土)～1月18日(日) 午前2時～午後3時
- 会場：Qiball[きぼーる] 1階 アトリウム(千葉県・千葉市)

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「僕たちが伝える体験者の言葉」では、千葉県立松戸高等学校演劇部、専修大学松戸高等学校演劇部・社会部の高校生たちが、体験者の労苦を綴った手記の朗読や、引揚げ体験者への取材を通じて、戦争が終わってからも苦しくつらい体験をした人たちの想いを自分たちの表現や言葉で伝えました。



千葉県立松戸高等学校演劇部



専修大学松戸高等学校演劇部



専修大学松戸高等学校社会部



引揚げ体験者による講評

特別展示「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2 [勝山俊一・田中武一郎]」

タイトルナンバー：Vol.26-12

特別展示として、九段生涯学習館 九段ギャラリーにて「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2」を開催しました。

- 会期：平成27年1月27日(火)～2月2日(月) 午前10時～午後7時
- 会場：九段生涯学習館 2階 九段ギャラリー

平和祈念展示資料館では、さきの大戦での兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の方々の労苦についての理解を深める機会を提供するため、全国で展示会を開催しています。

「シベリア抑留を描く－二人の画家展Vol.2」では、シベリア抑留体験者の勝山俊一氏と田中武一郎氏のお二人が描いた水彩画作品など43点を展示しました。

31日(土)には、学芸員によるギャラリートークを実施し、勝山俊一氏のご家族を迎えて作品にまつわるエピソードなどをお話いただきました。

また今回のイベントに合わせて、会場近くの昭和館・しょうけい館では、関連した企画を開催しました。



勝山俊一氏のご家族を迎えてのギャラリートーク

